

用水の安定供給により高品質花き栽培を中心とした経営を展開 ～渡 政幸（北海道石狩郡当別町）～

経営体の概要

事業実施前：平成5年
基幹作物：水稲、小麦、花き（カーネーション）
経営面積：11.9ha

事業実施後：令和4年
基幹作物：水稲、小麦、花き（カーネーション、カラー等）
経営面積：11.5ha

土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

【事業実施前】

- 用水不足、深水かんがい等用水手当がなく、水管理に苦慮。
- 用排水施設の老朽化等が進行し、維持管理に多大な費用労力。

平成5年
支線用水路の老朽化状況
（当別町内）



【事業実施後】

- 国営当別土地改良事業（平成6年～平成29年）により用排水路及び揚水機場が整備され、用水の安定供給により生産性が向上。
- 関連事業による大区画ほ場では、農作業の効率化と用水路のパイプライン化により、経営面積を維持しつつ、水稲栽培等の省力化とともに花き生産を拡大し、農業経営の安定化を図っている。

営農改善、経営転換等のポイント

①省力化

基幹用排水施設の整備を契機とした、関連事業のほ場整備により0.2ha区画から0.8～1.0ha区画となり、農作業の省力化が図られた。耕作道の完備により水管理が徒歩から軽トラックとなり半日の作業が20分となるなど、整備前の1割以下に大幅時間軽減した。また、小麦防除用水も給水栓から供給され給水時間の軽減が図られた。

②作物の変化

本事業による用水の安定供給、関連事業によるほ場の乾田化が図られたことにより、水稲の作業時間が大幅に軽減し、水稲作業との競合が解消したことから、花きを中心とした営農に転換し、作付けをハウス6棟から11棟に拡大し、多品目の花き生産に取り組んでいる。

③機械・設備の導入・整備

大区画化に伴い、田植機、コンバイン、ドローン、汎用コンバインを導入し作業効率を高めている。乾燥機は、水稲及び小麦の両方で使用し、機器の有効活用を図っている。パイプラインに別口で取水口を付け、田植後の苗箱洗浄や花きかん水に利用している。また、干ばつ時には小麦への地下かんがいも実施するなど安定生産を図っている。



小麦（収穫：粳運搬）



花き（カラー）



パイプラインから給水

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
関係市町：北海道石狩郡当別町
受益面積：3,324ha
事業期間：平成6年度～平成29年度
事業目的：用水改良、排水改良
主要工事：貯水池1箇所、揚水機3箇所、
用水路30条L=53.0km、排水路1条L=5.1km

位置図



当別地区

<問い合わせ先>

北海道開発局
農業水産部農業計画課
計画第1係
電話：011-709-2311
（内線5522）

（令和5年度調査時点）